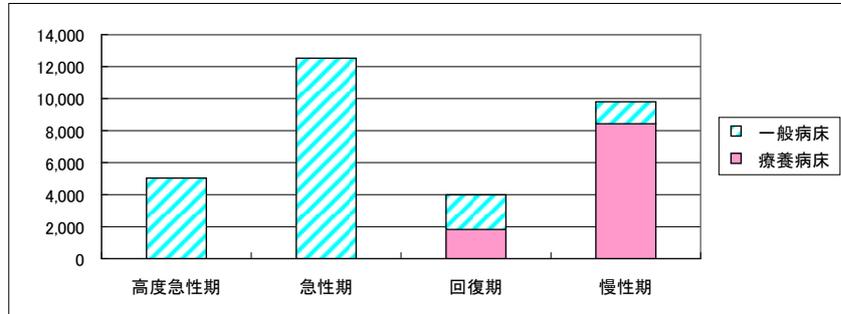


病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡県）】

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

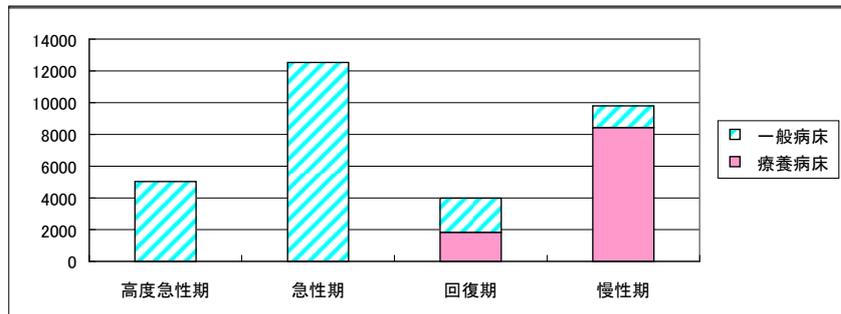


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	4,888	12,681	1,782	1,516	20,867
療養病床	0	5	1,916	8,370	10,291
合計	4,888	12,686	3,698	9,886	31,158
構成比	15.7%	40.7%	11.9%	31.7%	100.0%

(注)集計対象31,283床のうち、休棟等により医療機能について未選択の病床が125床分あり、上表には含めていない。

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	5,030	12,527	2,156	1,365	21,078
療養病床	0	3	1,833	8,435	10,271
合計	5,030	12,530	3,989	9,800	31,349
構成比	16.0%	40.0%	12.7%	31.3%	100.0%

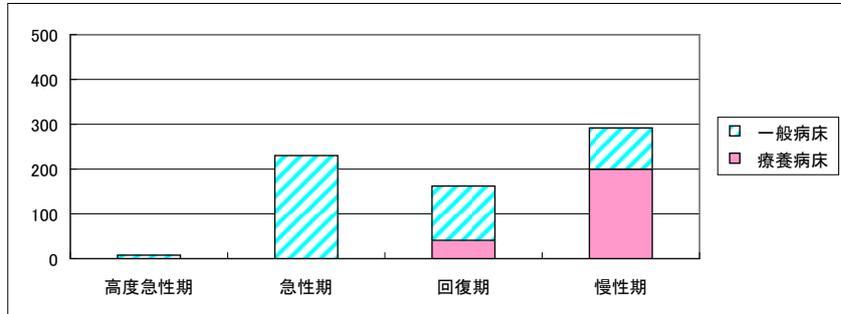
(注)集計対象31,435床のうち、休棟等により医療機能について未選択の病床が86床分あり、上表には含めていない。

〈2016年と2017年の比較〉

・急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（賀茂医療圏）】

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

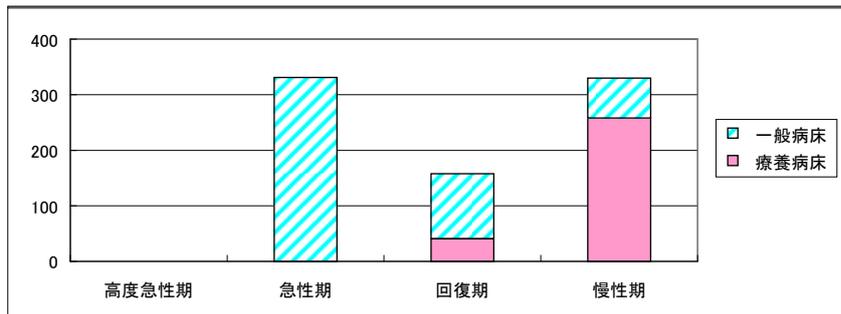


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	230	121	92	451
療養病床	0	0	41	200	241
合計	8	230	162	292	692
構成比	1.2%	33.2%	23.4%	42.2%	100.0%

(注)集計対象692床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	0	331	117	72	520
療養病床	0	0	41	258	299
合計	0	331	158	330	819
構成比	0.0%	40.4%	19.3%	40.3%	100.0%

(注)集計対象819床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

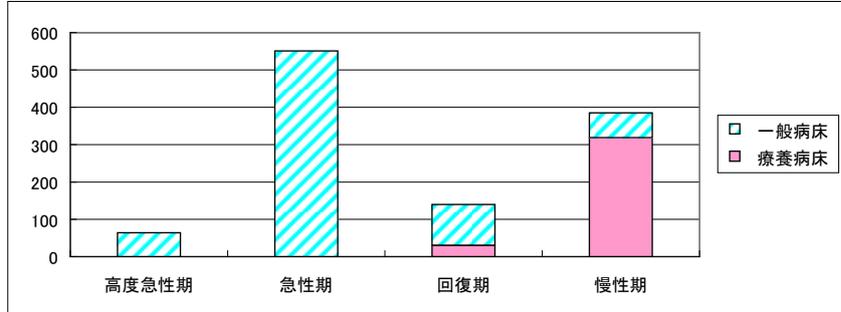
〈2016年と2017年の比較〉

- ・高度急性期、回復期、慢性期の構成比が減少し、急性期の構成比が増加した。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（熱海伊東医療圏）】

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

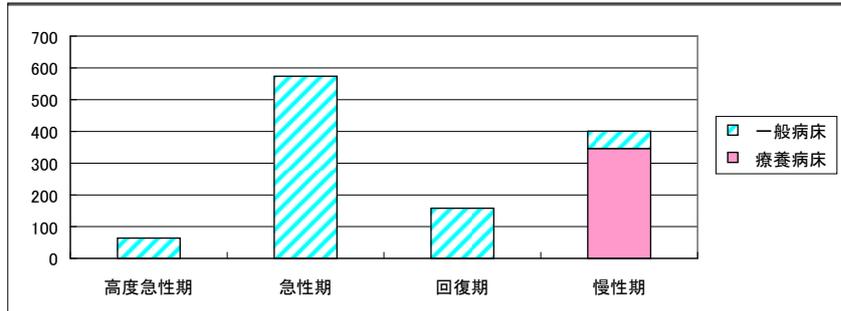


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	551	109	66	790
療養病床	0	0	31	319	350
合計	64	551	140	385	1,140
構成比	5.6%	48.3%	12.3%	33.8%	100.0%

(注)集計対象1,142床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	64	574	158	55	851
療養病床	0	0	0	346	346
合計	64	574	158	401	1,197
構成比	5.3%	48.0%	13.2%	33.5%	100.0%

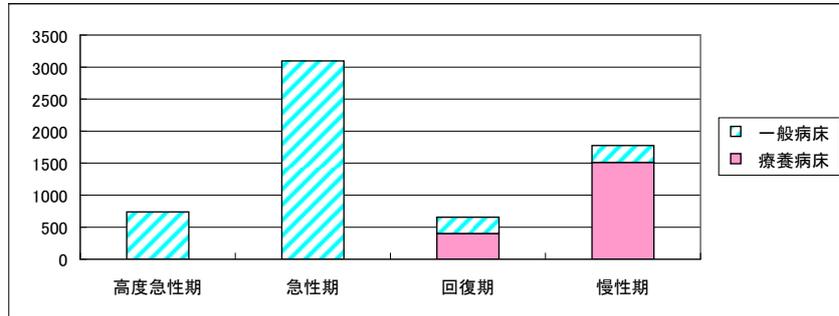
(注)集計対象1,197床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

〈2016年と2017年の比較〉

- ・高度急性期、急性期、慢性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（駿東田方医療圏）】

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

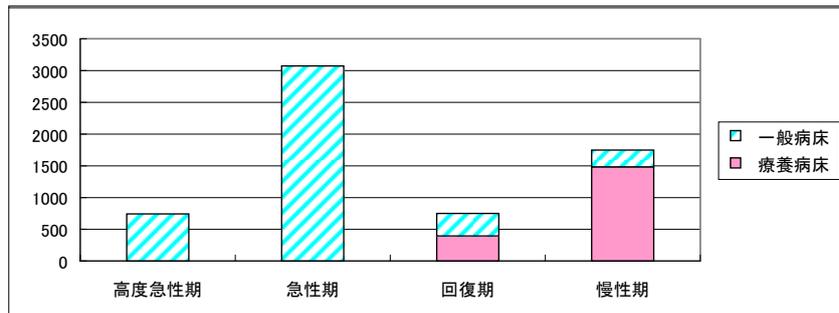


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	739	3,097	255	266	4,357
療養病床	0	0	401	1,511	1,912
合計	739	3,097	656	1,777	6,269
構成比	11.8%	49.4%	10.5%	28.3%	100.0%

(注)集計対象6,308床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が39床分あり、上表には含めていない。

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	743	3,072	353	267	4,435
療養病床	0	0	397	1,483	1,880
合計	743	3,072	750	1,750	6,315
構成比	11.8%	48.6%	11.9%	27.7%	100.0%

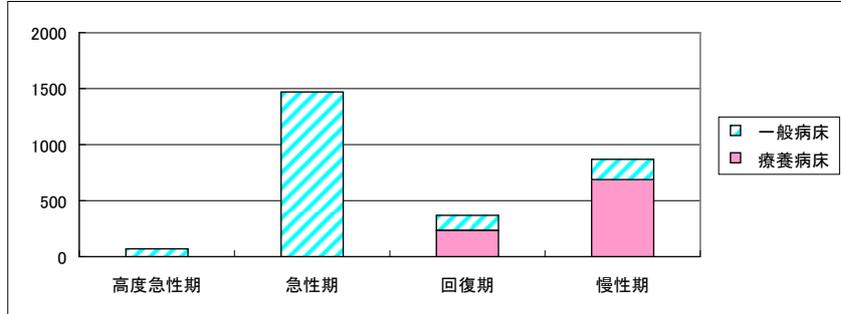
(注)集計対象6,315床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

〈2016年と2017年の比較〉

・高度急性期の構成比は変化がなく、急性期、慢性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（富士医療圏）】

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

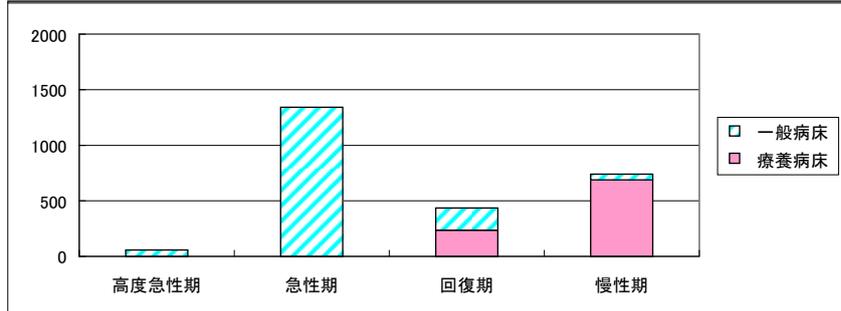


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	70	1,470	132	182	1,854
療養病床	0	0	237	688	925
合計	70	1,470	369	870	2,779
構成比	2.5%	52.9%	13.3%	31.3%	100.0%

(注)集計対象2,779床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	58	1,342	199	52	1,651
療養病床	0	0	237	688	925
合計	58	1,342	436	740	2,576
構成比	2.3%	52.1%	16.9%	28.7%	100.0%

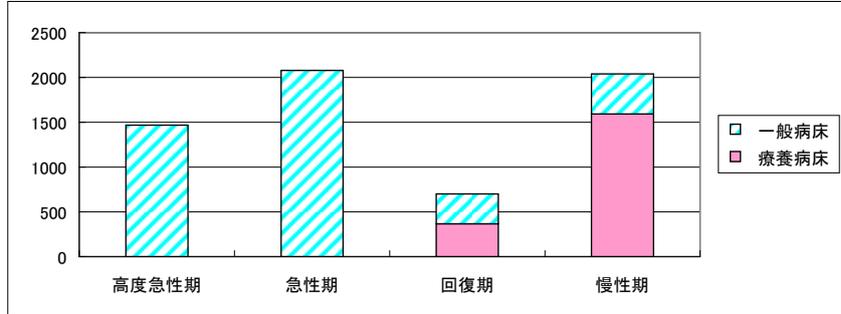
(注)集計対象2,653床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が77床分あり、上表には含めていない。

〈2016年と2017年の比較〉

- ・高度急性期、急性期、慢性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡医療圏）】

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

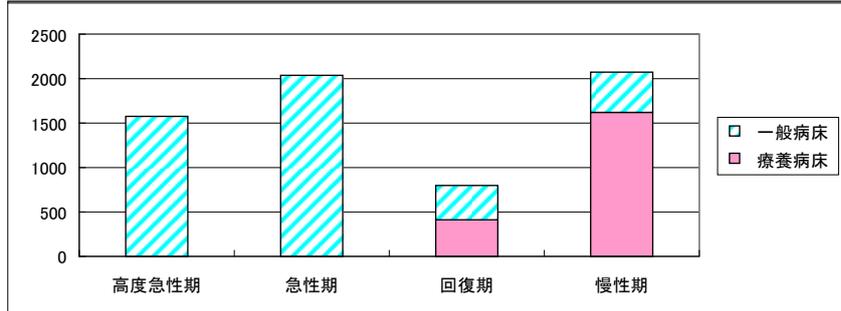


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,468	2,078	333	447	4,326
療養病床	0	0	367	1,592	1,959
合計	1,468	2,078	700	2,039	6,285
構成比	23.4%	33.1%	11.1%	32.4%	100.0%

(注)集計対象6,294床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が9床分あり、上表には含めていない。

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,575	2,037	384	453	4,449
療養病床	0	0	413	1,620	2,033
合計	1,575	2,037	797	2,073	6,482
構成比	24.3%	31.4%	12.3%	32.0%	100.0%

(注)集計対象6,491床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が9床分あり、上表には含めていない。

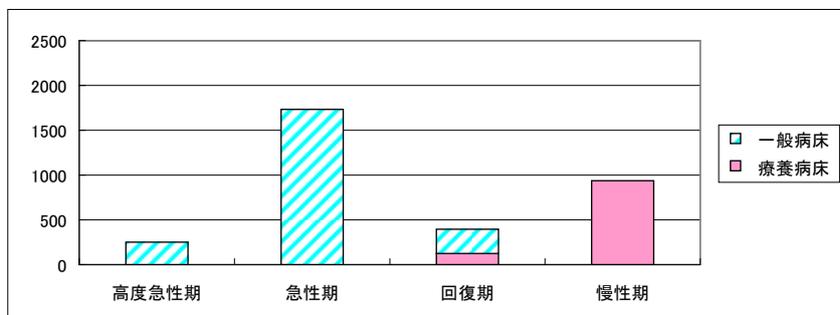
〈2016年と2017年の比較〉

・急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加した。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（志太榛原医療圏）】

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

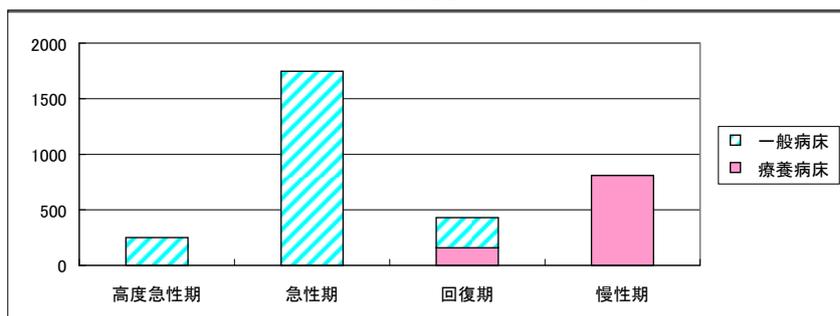


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,733	271	0	2,255
療養病床	0	0	125	938	1,063
合計	251	1,733	396	938	3,318
構成比	7.6%	52.2%	11.9%	28.3%	100.0%

(注)集計対象3,341床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が23床分あり、上表には含めていない。

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,747	272	0	2,270
療養病床	0	0	159	810	969
合計	251	1,747	431	810	3,239
構成比	7.7%	53.9%	13.3%	25.0%	100.0%

(注)集計対象3,239床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

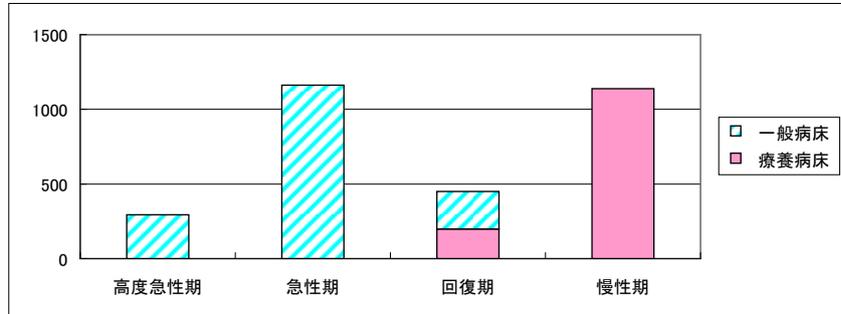
〈2016年と2017年の比較〉

・慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加した。

稼働病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（中東遠医療圏）】

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

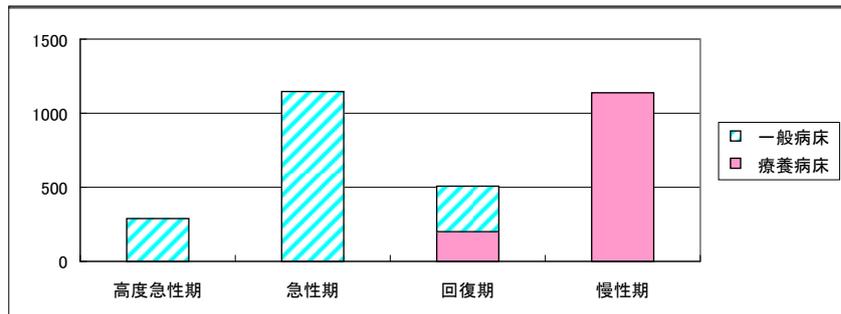


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	294	1,161	251	0	1,706
療養病床	0	0	199	1,138	1,337
合計	294	1,161	450	1,138	3,043
構成比	9.7%	38.2%	14.8%	37.4%	100.0%

(注)集計対象3,043床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	289	1,146	307	0	1,742
療養病床	0	0	201	1,138	1,339
合計	289	1,146	508	1,138	3,081
構成比	9.4%	37.2%	16.5%	36.9%	100.0%

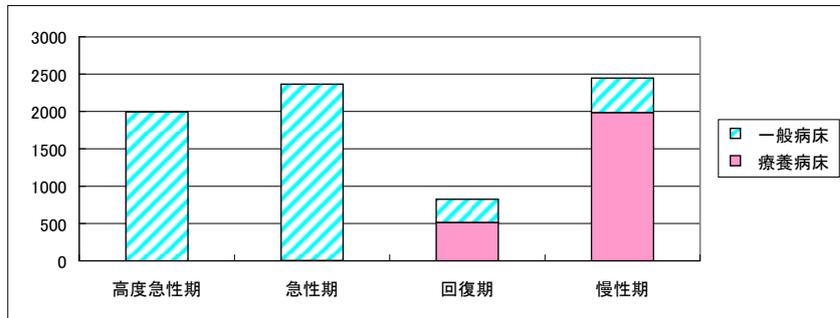
(注)集計対象3,081床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床はない。

〈2016年と2017年の比較〉

・高度急性期、急性期、慢性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加した。

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（西部医療圏）】

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》

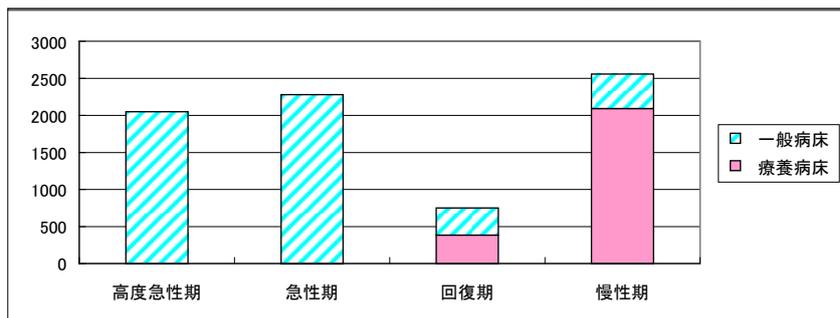


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,994	2,361	310	463	5,128
療養病床	0	5	515	1,984	2,504
合計	1,994	2,366	825	2,447	7,632
構成比	26.1%	31.0%	10.8%	32.1%	100.0%

(注)集計対象7,686床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が14床分あり、上表には含めていない。

《2017(平成29)年7月1日時点の医療機能別の病床数(稼働病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	2,050	2,278	366	466	5,160
療養病床	0	3	385	2,092	2,480
合計	2,050	2,281	751	2,558	7,640
構成比	26.8%	29.9%	9.8%	33.5%	100.0%

(注)集計対象7,640床のうち、現時点の医療機能について未選択の病床はない。

〈2016年と2017年の比較〉

・急性期、回復期の構成比が減少し、高度急性期、慢性期の構成比が増加した。